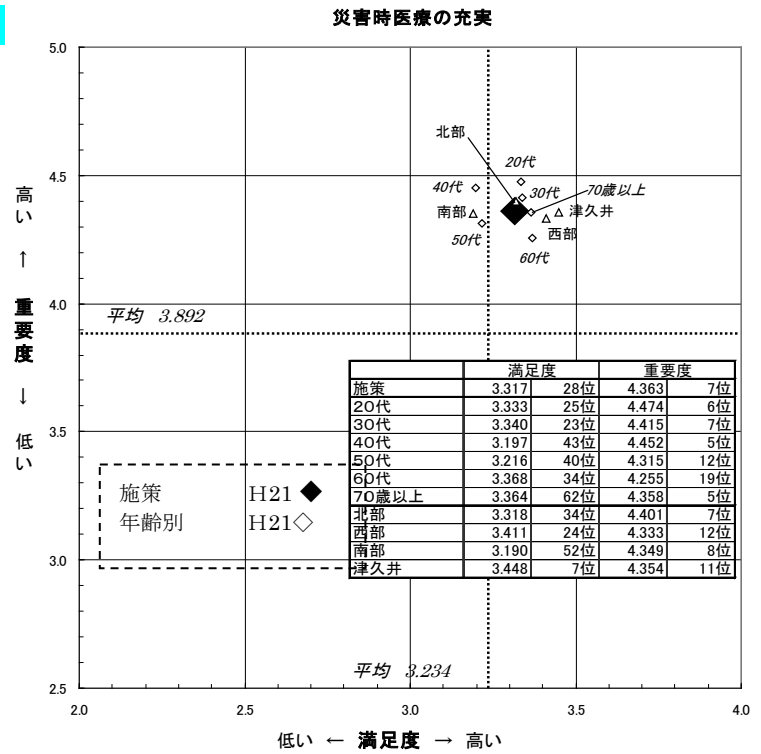


5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)

○この施策の満足度は3.317で全119施策の中で28番目。
 ○重要度は4.363で7番目である。
 ○改善要望度は0.274で19番目である。



6 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4(2)1	4(2)1	
効率性	最小の経費で最大限の効果を得られるよう、効率的に事業を実施している	4(2)1		
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4(2)1	4(2)1	
合計		10	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(9点以上) B(8点・7点・6点・5点) C(4点以下)	
				1次評価 A

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

7 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	救護所における看護ボランティアについては、市広報紙やホームページへの掲載などにより募集を行っているが、登録者が増えない状況にある。 津久井地域の医療救護が6箇所となったことから、今後は、スタッフの配置を進めて訓練を実施する必要がある。
解決策	看護ボランティアについては、市広報紙やホームページへの掲載を引き続き行うとともに、登録者を通じて呼びかけをするなど募集方法の検討を行う。 津久井地域の医療救護訓練については、今年度中、1箇所を目標に訓練実施を実施する。

8 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

評価基準に則ると有効性は2点であるが、指標1については、単位が%であり、上限が100%であるため、100%の場合に限り4点とする。 昨年度3次評価意見を踏まえた目標設定(想定被害に対する配置率)とすること。 指標5の目標値について、今回までに設定することとなっているため、設定すること。 ⇒ 医薬品等の配置率については、想定被害における想定負傷者に対する必要な医薬品等を配置しているもので、昨年度の3次評価意見に対しての指標となっていると考えている。 なお、今年度新たに津久井地域の救護所6箇所に医薬品等を今後配置する予定である。 また、指標5の目標値については、今年度のアンケート調査のため、設定することができない。	2次評価 A
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価 A
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向